

城南サポネット通信 Vol.3

発行：福岡市障がい者等地域生活支援協議会 城南区部会 事務局



第3回 城南サポネットを開催しました

平成26年6月20日（金）に城南保健所の講堂にて第3回城南サポネットを開催しました。今回は居宅介護や通所の事業所、相談機関、そして医療機関からの参加もあり、全体で30事業所、59名の方にご参加いただきました。

平成27年度より完全施行となる計画相談支援をテーマに、福岡市障がい者在宅支援課の板本係長より、福岡市の現状や今後の流れについて説明していただきました。参加者からの質疑応答の時間も設けました。

後半はグループに分かれ、計画相談支援について期待できうこと、気になること等について意見を出し合いました。期待できることとしては、関係事業所間で連携がとりやすくなるのではないか、一人の利用者に対して一本化された支援ができるのではないかという意見、気になることとしては、個人情報が適切に管理されるのか、相談支援の事業所数が少ない中、利用者のサービスを途切れさせることなく計画を立てられるのか等の意見が出ました。最後に福岡市相談支援機能強化専門員の森口氏からコメントをいただき、まとめを行いました。

参加者同士での活発な意見交換の姿が見られ、城南区の事業所の皆さん意識の高さを感じられた2時間でした。

当日の感想(アンケートより抜粋)

- ・サービス等利用計画についての具体的な情報を得ることができた。
- ・今回、知っていて当然と思っていた計画相談ですが、もっと広くたくさんの関係者が知っていくべきだと感じました。
- ・計画相談支援がスタートする前に、他事業所や施設、学校、医療等の意見がたくさん出ており、皆、同じ気持ちでいることもわかった。
- ・今後の動きがわかり良かった。私たちの関わりが重要だと感じた。
- ・医療、福祉、教育機関の方が集まってのディスカッション大変有意義でした。
- ・短時間でしたが、それぞれの事業所さんでの障がい者の方々の支援の状況、今後の計画相談に対する心配等、リアルに聴けて良かった。

※その他、計画相談支援に向けて各事業所の取り組みをテーマにしてほしいという声や、計画相談支援が順調に進んでいくのだろうかという声などをいただきました。



★当日の様子★



城南区シンボル
キャラクター
油山の妖精・ニッコりん



O157の王様・
ワルもん

夜には懇親会もありました！

懇親会には合計30名の方が参加してくださいました。計画相談支援の施行に伴い、これまで以上に関係機関の連携が必要になるため、懇親会は密度の濃い情報交換の場としてたいへん盛り上がりました。普段は聞くことのできない話が聞けたりと懇親会ならではの繋がりもできたのではないかと思います。

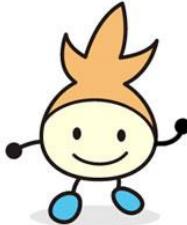
今後も城南サポネットに合わせて懇親会を開催します！懇親会だけの参加でも構いません！皆さんで城南区を盛り上げていきましょう♪(^ω^)ノ



【問い合わせ先】

◆福岡市障がい者等地域生活支援協議会 城南区部会事務局

城南区知的障がい者相談支援センター（葦の家）TEL：874-7907
城南区精神障がい者相談支援センター（リブル）TEL：845-6800



当日のグループワークの中で出された意見の一部を
ご紹介します。

城南区シンボルキャラクター
油山の妖精・ニッコりん

◎計画相談支援で期待できうこと！

- ・いろんな事業所との連携がとれ、サービスの質の向上が期待できる。
- ・各事業所でばらばらだった個別支援計画、目標、目的が統一化、一本化されるのではないか。一人の利用者に関わる事業所がモニタリング等の機会で集まって協議することで団結、連携が出来ていくのではないか。
- ・従来は直接に利用者宅を訪問し、個別支援計画を作成、サービスの提供を行うが、うまくいかない場合には関係が切れてしまう。計画相談によって支援がうまく機能することが期待される。
- ・支援の全体の方向がわかった上で、各事業所がサービス等を実施できる。
- ・利用者との関係がいろいろな場面で見えてくるのではないか。仲介役として行つていけることは良いことだと考える。
- ・色々と事業所を変える方は、事業所を変更することが減るのではないか。
- ・ケアマネの様な方が入る事で窓口ができ、分かりやすくなるのではないか。
- ・事業所同士で情報を共有しやすくなる。
- ・利用者さんが直接利用したいということで事業所を訪れられてスタートすることも今まであったが、これからは一つクッションが入るということで、「何もない状態からのスタート」ではなく「情報がある状態からのスタート」が出来る。
- ・支援計画の未策定や利用者の苦情対応の不適切さ、虐待等の不適切な支援を行っている事業所に対するチェック機能が期待できる。
- ・障がい児教育の分野で、卒業後の進路、放課後の子どもたちの生活の在り方等について、教育支援計画にプラスして生活面での内容がボリュームアップしたり、教育外との連携が高まる。

◎計画相談支援の気になること！

- ・利用者の個人情報がしっかりと守られるのかが心配。
- ・現在、特定相談支援事業所が20カ所ということで、本当にこれで27年度をしっかりと迎えることができるのかと心配。
- ・それをしっかりと捉えた利用計画が作成できるのか。これまで事業所と利用者の関係でそれぞれの個別支援計画があったが、その間に外部の人が入ってきて計画を立てるというのはスムーズに行くのか。
- ・者も児も計画を作成する相談支援事業所が少ない。
- ・相談支援専門員の存在を利用者の方に理解してもらえるか、受け入れてくれるか。
- ・利用者の希望する量と市の判断との間の調整が出来るのだろうか。
- ・H28年3月に特別支援学校を卒業する生徒の進路調査について、現在の学校の進路担当者の教職員との役割分担が必要になるのではないか。
- ・本来行うべき丁寧なアセスメントやサービス担当者の不安、モニタリング等が疎かになってしまい、その後の調整に関しても常態化してしまう恐れはないか。
- ・大人数のケースの計画をスムーズに、物理的に出来るのか不安。担当者会議、も大変になるのではないか、本人の思いより家族の意向が優先されてしまわないか、医師との関係性は大丈夫なのか。
- ・件数の関係から、内容がすかすかになってしまうのではないか。
- ・指定相談支援事業が大変なので、事業所数が増えていないのではないか。
- ・医療機関はサービス等利用計画のことを把握しているのか、情報を医師会に説明できているのか。

その他にもたくさんの意見がグループ内であがっていました。今後本格的に施行される計画相談支援を、**城南サポネット**の力を活かして、みんなで取り組んでいきましょう！！

次回の城南サポネットは11月の開催を予定しております。詳細が決まり次第、ご案内いたしますのでお楽しみに！！

城南サポネットについて、何かご意見等ございましたら事務局までご連絡いただきますようよろしくお願ひします。

O157の王様・
ワルもん

